



## 自分の命は自分で守る!地震避難訓練

本日、14日(木)は、地震避難訓練でした。避難訓練の前に、子供たちに話をしたのは、6年前の熊本地震のことでした。

6年前、私は教頭となり、4月14日の朝4時頃、がんを患っていた父が静かに息を引き取りました。それまで父とはあまり会話もなかったのですが、病院で看病している間は、ずっと話しかけていました。意識も朦朧としておりましたが亡くなる直前まで、時折頷いてくれました。

その日に通夜を行って、通夜振る舞いの最中の21時過ぎに前震が斎場を襲い、外に避難しました。翌日、火葬場に行ったものの火葬炉も被害を受けており、順番待ちでやっと火葬でき、安堵したことを覚えています。そうして、葬儀を済ませて自宅に戻り、茶碗や倒れた家具などを片付け、眠りについた16日の夜中に本震が襲いました。私は嘉島町に住んでおり、近隣の住宅がバリバリと音を立てて倒れていくのを見ました。また、勤務していた学校に駆け付けると、津波を恐れた地域住民の方々が、窓ガラスを割って校内になだれ込まれていました。それから2週間、自宅に戻らず学校で避難所運営をしました。

本日、子供たちには、避難訓練は何のためにするのかということ話をしました。

○日本は自然災害が多いので、平時の備えが欠かせない

○自分たちの命は、自分たちで守るという意識を高める

また、昨年度の卒業生が式の中で歌った「いのちの歌(作詞:竹内まりや)」の一節も紹介しました。「本当に大事なものはかくれて見えない ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜びがある」という一節です。災害は一瞬にして、人々の日常を奪います。避難訓練は、日常の当たり前の、お友達と遊ぶことや、お勉強をすることや、誰かと笑い合うことなど、改めて日々の暮らしに感謝する機会でもあると思います。私ももう少し父に親孝行をしておけばよかったと悔やんでいます。

熊本地震を教訓に活かすためにも、ご家庭でも今一度、災害のときの備えを話し合ってみてください。



帯西ブルーの心で真剣に避難する2年生

## 安心・安全メール登録内容変更のお願い

安心安全メールの登録内容の変更はお済でしょうか?学校から届く、安心安全メールの最下部に「運営のしくみ、登録内容変更・配信停止・退会の方はこちら」として、URL があります。そこから、サイトに入っていただき「登録・登録内容変更など」というところから、空メールを送ると、登録内容変更のための URL が届きます。そこから内容変更を行ってください。

コロナの収束が見通せない状況ですので、学級ごとにメール配信する機会も増えると思います。必ず、お子さんを進級させて新しい組を入力してください。ご理解ご協力をお願いします。